

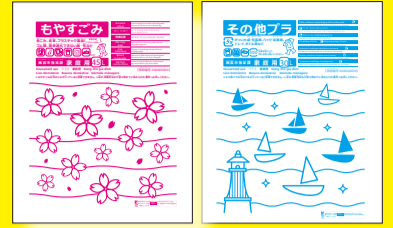
重要

指定ごみ袋制度

問 美化企画課 (0798・35・8653)

7月から指定ごみ袋以外で出されたごみは 収集不可

暫定措置期間が6月30日で終了



新型コロナウイルス感染症の影響により、指定ごみ袋以外で出されたごみも収集を行う暫定措置期間を設定していましたが、6月30日で終了します。

7月1日からは指定ごみ袋以外の袋で出されたごみは収集できません。

なお、指定ごみ袋は市内店舗(スーパーマーケット、薬局、ホームセンター、コンビニ等)やインターネットで販売しています。

詳しくは市のホームページでご確認ください。



(HP)76769939

事業者の皆さんへ

事業系指定ごみ袋制度も同様。7月1日からは、事業系指定ごみ袋を使用し、事業所名の記入をお願いします。



問 事業系廃棄物対策課 (0798・35・0185) 施設管理課 (0798・22・6601)

(HP)60922344



ヘルプマーク 持っている人を見かけたら

援助が必要な人のためのマーク

電車・バス

席をお譲りください

外見では分からなくても、疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが困難な人がいます

災害時

安全に避難するための支援をお願いします

状況把握が難しい人、自力での迅速な避難が難しい人がいます

駅・商業施設

声をかけるなどの配慮を

突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な人、階段の昇降などの動作が困難な人がいます



ヘルプマーク・ヘルプカードの交付場所 (HP)89885871

配布場所

障害福祉課(市役所本庁舎1階)、保健予防課(保健所2階)、中央・鳴尾・北口・塩瀬・山口保健福祉センター、甲東・瓦木支所

条件など

障害者手帳の有無は不問。申請書・印鑑不要。代理人受取可

マスク着用に関して、障害のある人への配慮をお願いします

知的障害や感覚過敏等の理由で、新型コロナウイルス感染症対策としてマスクを着用できない人、周囲の人と適切な距離を確保することが難しい人等、不自由を感じている人がいます。いきなり注意するのではなく、できる範囲で柔軟な対応をお願いします。

マスクの着用が難しい人へ (HP)15467585

「マスクをつけられません」と周囲に知らせることができイラストがあります。インターネットでダウンロードして意思表示カード等として使用できます



©2020わけがありますく

問 障害福祉課 (0798・35・3147) FAX 0798・35・5300



公園を利用する時は ルール・マナーを守ろう!

誰もが気持ちよく公園を利用できるよう、みんなで譲り合って利用し、ルールとマナーを守りましょう。また、公園施設は大切に扱きましょう。

- ごみは持ち帰る
- 早朝や夜間はお静かに
- 公園内は全面禁煙・火気使用禁止
 - …たき火、バーベキュー、午後10時以降の花火は禁止
- ペットは適切に散歩する
 - …犬の放し飼いはしない。ふんは飼い主が責任をもって持ち帰る
- 硬式野球やゴルフなど危険な球技はしない
 - …ボール遊びは近隣や他の利用者の迷惑にならない範囲で
- 遊具は正しく使用する
 - …たくさんの人で一度に利用しない。動いている遊具に近づかない
- ハトなど動物への餌やりは禁止
 - …無責任・不適切な餌やりは、餌の食べかすやふん尿等で周囲を汚し、利用者の迷惑や、近隣住民の生活環境に悪影響を及ぼします
- 武庫川河川敷緑地のサイクリングロードは自転車専用です
 - スピードの出し過ぎや歩行者の横断にご注意を。歩行者は通行禁止(ランニングも不可)

公園使用時に届け出が必要な場合

- ▶大人数やイベントなどで使用する場合
- ▶グラウンドゴルフなど定期的に利用する場合

一般利用者の中でトラブルが多く発生しています。譲り合って利用しましょう

問 公園緑地課 (0798・35・3611) (HP)36333859

病気や医療的ケアがあっても、住み慣れた地域で生活を送りたい! そんな願いを支援します

医療的ケア児と家族のためのガイドブック

★…関係機関で構成され、障害の有無に関わらず「誰もが住みやすい西宮」に向けて課題を共有し、解決に向けて活動している

西宮市地域自立支援協議会(愛称:みやっこ会議★)は、『医療的ケアが必要なお子さまとご家族のためのガイドブック』を配布しています。医療的ケアが必要な子供やその家族の皆さんへ、退院時からの相談窓口や支援制度を紹介しています。

配布場所

障害者総合相談支援センターにしのみや(総合福祉センター内) ※みやっこ会議HPからもダウンロード可

問 西宮市地域自立支援協議会事務局 (0798・37・1300)

石井市長の

てくてく句

歳時記

今月の一句!



思ひのせ

蘭学のみち

蜜舞ふ

西宮市長 石井登志郎

今年も蜜が舞う季節となりました。近年は山口町の有馬川や船坂川、名塩川や夙川の上流などでも蜜が確認されるようですが、これも蜜の生息に適した環境を作ろうとご尽力いただいた市民の方々と、自然の力によるものと感謝するものです。

さて、その蜜舞う地区のひとつである名塩では、生瀬地区の「ぐるっと生瀬」に続き、今月からコミュニティバスの試験運行が始まります。坂道や隘(あい)路の多いこの地域では、大型バスが入れない住宅地もあり、地域住民にとって、身近な足の確保は悲願でした。その名塩には、蘭学通りと呼ばれる道があります。日本医学近代化に大きく貢献した江戸末期の蘭学者・緒方洪庵の妻、八重の出身地である名塩には、蘭学塾が開設され、若者たちが熱心に学びました。伝統を守りながら新たなものに挑戦する、そうした気風が名塩にはあるのだと感じます。

蜜に見守られながら始まるこの挑戦が、順調に進み、地域のにぎわいにつながることを心から願うものです。



かつて名塩蘭学塾のあったJA兵庫六甲名塩支店前の緒方八重像

今月から市民の皆さんや地域の魅力を俳句と文章で記すコーナーを開始します。西宮のまちや季節を感じてもらおうことができれば幸いです